

東日本大震災5年 ミホプロジェクト・チャリティコンサート

《ひまわりの丘》

～福島の子どもたちとともに★祈りのコンサート～



❖ 出演 ❖

画・詩・朗読/信木 美穂

歌/木田いずみ

チェロ/富田 牧子

オルガン/原田 靖子

❖ 曲目 ❖

J. S. バッハ(1685-1750):
サラバンド(無伴奏チェロ組曲 第6番より)

カンタータ 第46番より

F. メンデルスゾーン(1809-1847):
エルサレムよ! (『パウロ』より)

G. フォーレ(1845-1924):ロマンス

R. マウエルスベルガー (1889-1971):
なにゆえこの都はかくも荒れ果て
ほか

2016年3月11日(金) 2回公演・各90分(開場30分前)

昼の部 14:30～ 柳谷牧師のメッセージ/14時46分の黙禱/60分のコンサート

夜の部 19:00～ 90分のコンサート

日本基督教団 松本教会 〒390-0876 松本市開智 2-3-45

松本駅から徒歩 25分/北松本駅から徒歩 10分 ※松本城の北側、開智小学校のならば



全席自由 1500円/18才以下 500円 ※未就学児入cc場可(無料)/母子室あります

チケット申込み: 松本教会 tel.0263-33-4653

tel. 090-9953-3238 (柳谷) e-mail: tmk_yanagiya@nifty.com

主催/問合せ: ミホプロジェクト tel: 03-6317-8916 (ベアータ) e-mail: beata@ab.auone-net.jp

コンサートに寄せて

東日本大震災と未曾有の原発事故からまもなく5年。その間、福島では、避難した人と留まった人、移住した人、戻った人、避難生活を続ける人…それぞれが様々な事情に引き裂かれながら、苦渋の選択を強いられてきました。そして今、汚染は早くもやむやにされ、事故の収束を見ぬまま再稼働が始まり、避難者たちを福島へ帰そうとする政策が押し進められています。この小さな国で共に暮らす者として、こんなにも命をないがしろにされる現実とどう向き合っていくのでしょうか。

さて、2016年3月11日、2つの素晴らしいオルガン(辻宏さんのパイプオルガンと西川のリードオルガン)を擁する松本教会をお借りして、〈ミホプロジェクト〉の小さなコンサートを開催させていただくことになりました。

このコンサートの中心に据えられるのは**信木美穂**の絵と詩。これは、震災直後から避難者の支援活動に奔走してきた信木が、福島の子どもたちと過ごすうちに、幼い彼らの親にも言えない本音や、大人の嘘を見つめる真っ直ぐな心に触れ、やむにやまれぬ思いに駆られて編んだ詩画集『ひまわりの丘』に収められているものです。〈ミホプロジェクト〉は、信木自身による詩の朗読と、古今の祈りの音楽の演奏とを組み合わせた「現代のオラトリオ」ともいうべきプログラムを携え、2012年から各地でチャリティーコンサートを開催してきました。

[コンサートの動画はこちら→<https://youtu.be/MWw0B1bCS24>]

当日は絵をスクリーンに映しながら、音楽の演奏と詩の朗読を交互に進めていきます。昼の部は、松本教会の柳谷知之牧師のメッセージと14時46分の黙禱の後に60分のコンサート(短縮版)を、夜の部は90分のコンサートをお届けする予定です。皆様にご来場いただき、あの事故によって起きたことを今一度心に刻みつつ、ひととき、祈りを共にすることができれば幸いです。

[ミホプロジェクト制作 木田いずみ]

出演者プロフィール

* 信木美穂 (Miho Nobuki) — 画/詩/朗読/企画

3.11直後に法律家らとともに〈東京災害支援ネット(とすねつと)〉を設立し、避難者支援を開始。その後、子どもと家族の支援に特化した〈きらきら星ネット〉を立ち上げ、日常的な生活サポートに加え、保養プログラムなどを行っている。東京に避難してきた子どもたちから強いインスピレーションを受け、詩画集『ひまわりの丘』を出版。miho project 主宰。

* 木田いずみ (Izumi Kida) — 歌/構成/制作

1986-99年まで淡野弓子指揮〈東京ハインリヒ・シュッツ合唱団〉に在籍、国内での演奏活動のほか、ドイツ演奏旅行に参加。2001年より4~5名のア・カベラグループ〈アンサンブルQ〉を主宰、自主公演のほか各地の教会などで充実した演奏活動を行う。また、コンサートの企画・制作などを手掛けている。

* 富田牧子 (Makiko Tomita) チェロ

東京芸術大学、同大学院修士課程修了。ハンガリーのリスト音楽院にて、メズー・ラーズロー氏に師事。ソロリサイタルのほか、小編成のアンサンブルを中心に活躍。ガット(羊腸)弦を用い、ピリオド奏法を始めて、より深い音楽と楽器の理解を探求中。室内楽の楽しさを伝える活動をライブワークとしている。

* 原田靖子 (Yasuko Harada) オルガン

東京芸術大学作曲科、オルガン科卒業。礼拝奏楽、各地での演奏会や教育現場などで活動し、2014年春、松本市音楽文化ホールオルガニストに就任。豊かな音楽性と自由な発想力により、ユニークなコンサート企画を展開している。

コンサートの収益は「まつもと子ども留学基金」を通して、福島の子どもたちのために使われます

NPO法人「まつもと子ども留学基金」は、福島から松本への避難移住者と支援者によって設立され、2014年4月、松本市四賀地区に**子ども寮**を開設しました。**子ども寮**は、福島はじめ被災地の子どもたちが安心して生活できる場所づくりを目的としたもので、昨年度は8名、今年度は6名の子どもたちが元気に生活しています。健康被害が深刻さを増し憂慮される今、事業の拡充が急がれています。

<http://www.kodomoryugaku-matsumoto.net/> <http://ameblo.jp/matsumoto-relief>

◆今後も継続的なご支援をお願いできれば幸いです◆

みずほ銀行 松本支店 (普)1265273 名義:まつもと子ども留学基金

郵便振替 口座番号:00590-5-101451 名義:まつもと子ども留学基金